

令和5年度当初予算案

資料1



令和5年2月17日

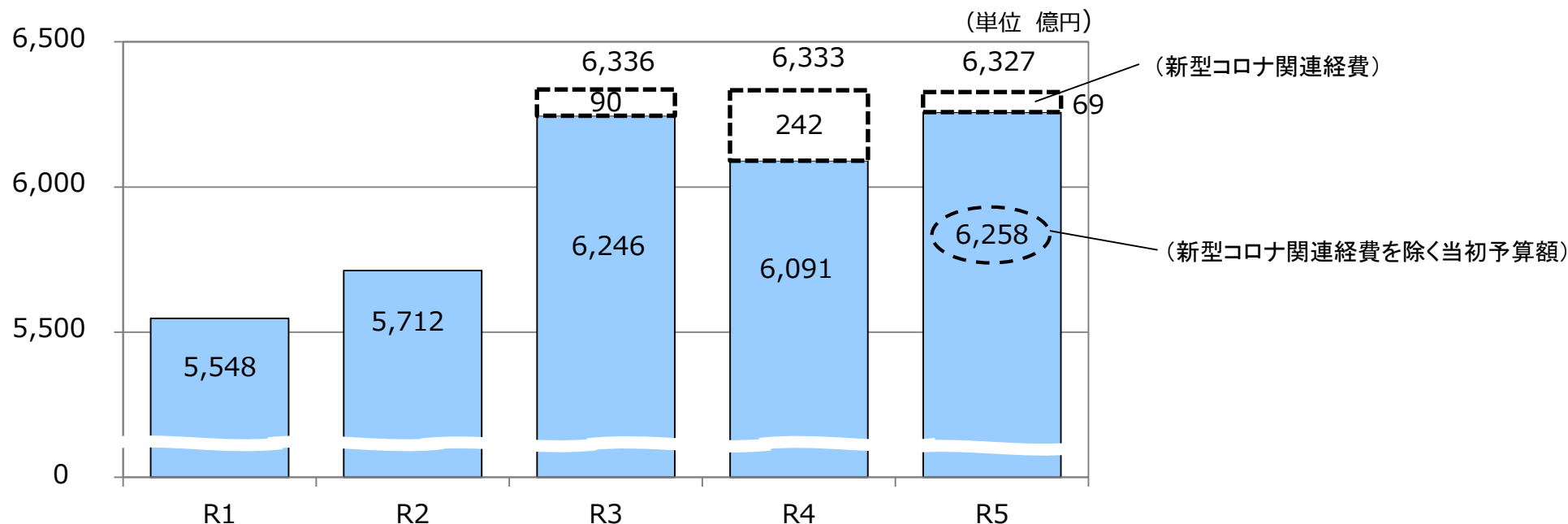
予算規模など

令和5年度一般会計当初予算額 **6,326億5,505万円**

併せて令和4年度2月補正予算に計上する「エネルギー価格・物価高騰対策」などを含めると、

6,364億3,132万円

➡ 新型コロナ関連経費（検査・医療提供体制、ワクチン接種など※）を除くと、**過去最大**の規模



※新型コロナについて、「5類」移行後(5月8日～)の公費負担など国の方針が未定であるため、当初予算では、基本的に第1四半期(3ヵ月)分のみ計上

当初予算のポイント（1）

1. 県民の暮らしを守る <686億円>

※金額には、関連する2月補正予算額を含む。

○エネルギー価格・物価高騰対策

令和4度の補正予算（6月・9月・11月）に続き、必要な生活者支援・事業者支援に取り組む。

○新型コロナ関連

検査・医療提供体制の確保、ワクチン接種の促進など

2. こども政策をはじめ「未来づくり」に積極投資(新規・重点経費) < 96 億円> (R④85億円)

【主な施策の柱】

○少子化対策・子育て環境の充実（重点政策①）

「こどもまんなか共生社会」の実現や、若年(女性)層の本県への転入・定着を目指す。

○ウイズコロナの経済活性化（重点政策②）

スタートアップ支援や、北陸新幹線の敦賀開業に向けた取り組みなど

○DXやカーボンニュートラルの推進（重点政策④・⑥）

県の基本方針や戦略を踏まえ、民間部門と公共部門が一体となって推進

○人への投資（重点政策⑦）

生産性の向上等に資するリスキリングへの支援、DX人材の育成など

➡ **県民のウェルビーイングの向上に資する重点施策を着実に推進**

当初予算のポイント（2）

3. 既存事業の抜本的見直し・再構築

令和4年度当初予算に続き、長年にわたり継続している事業などは、県民や事業者、関係団体の現場の声に加え、デジタル技術の進展など現下の社会情勢の変化を踏まえ、**事業の統廃合を含め、抜本的に見直し**

➡ 令和5年度当初予算における見直し額は、**事業費ベースで10.5億円**（R④18.2億円）

【主な取組み事例】

（1）官民協働事業レビューを踏まえた「県民目線」での見直し

○敬老祝事業の見直し（厚生部）

- ・88歳の方への祝状の贈呈等を取りやめる一方、新たに、県全体として高齢者への敬意と感謝の意を表す新聞広告を掲載する。

○「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業の見直し（農林水産部）

- ・「シーフードショー」への出展を2年に1回とし、出展者や来場者へのフォローアップなどを充実する。

○「スポーツフェスタ」の見直し（生活環境文化部）

- ・スポーツ人口の拡大効果が見込みにくい一部の「部門」を廃止する一方、新たに、スポーツ人口を掘り起こすための事業に見直し

○富山県推奨とやまブランド推進事業の見直し（知事政策局）

- ・県「総合計画」に掲げる目標数の達成により、新規募集は停止
- ・今後は、新たに構築する「オウンドメディア」やSNSを活用し、本県の認知度向上・イメージアップを図る。

（2）「伝える事業」の強化

○企業情報サイトを統合・リニューアル（商工労働部）

- ・既存の企業情報検索サイト（企業ナビとやま、とやまUターンガイド、インターンシップナビとやま）を統合し、アクセシビリティを強化するとともに、新たに、SNSによるプッシュ型の情報発信などに取り組み、本県への「UIターン」を一層促進

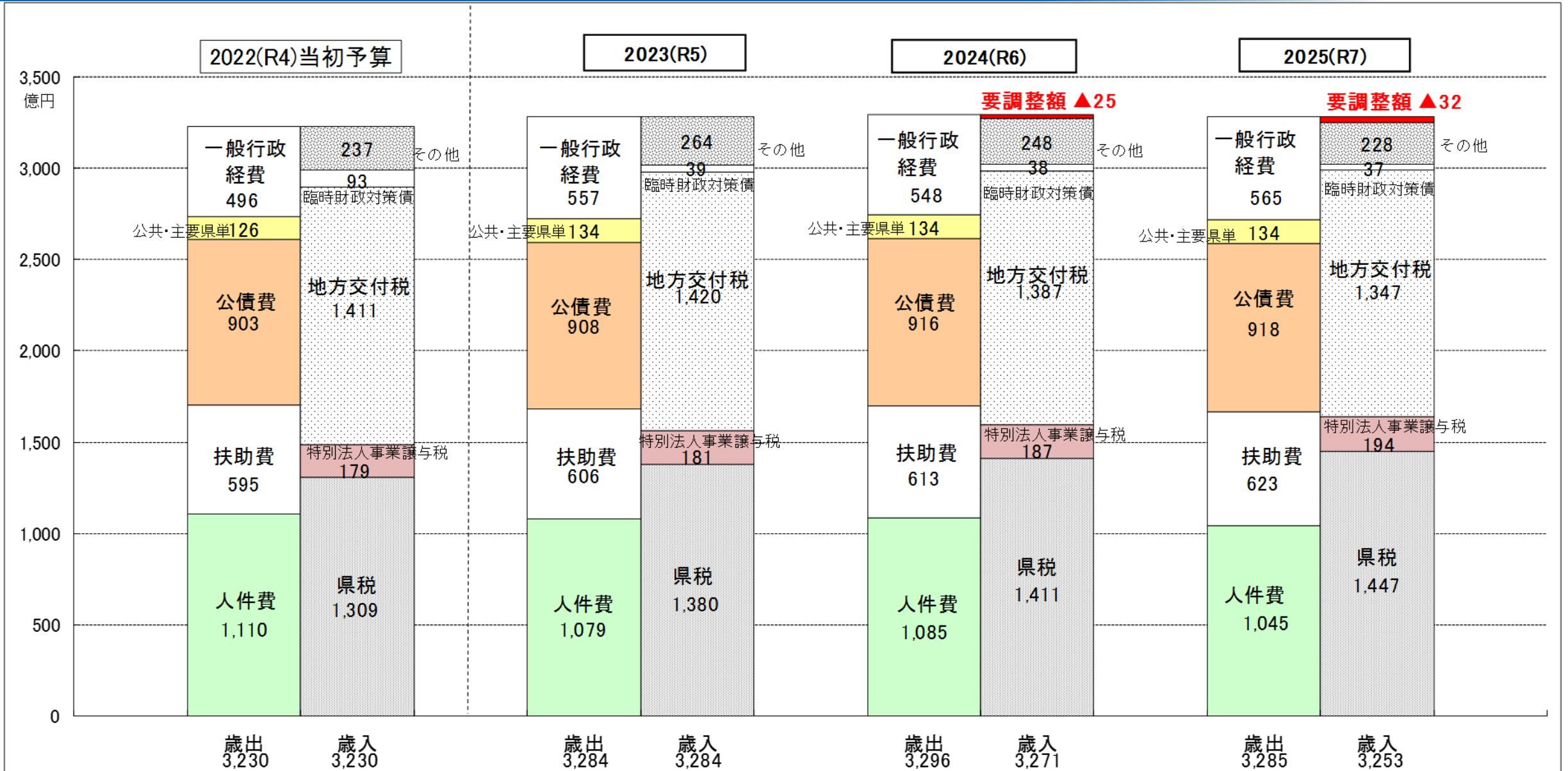
（3）その他の見直し

○県内で活動するアーティストと、派遣を希望する県民・団体とのマッチング事業として改善（再構築）（生活環境文化部）

○AI-OCR・RPAを活用し、会計事務を自動化（出納局）

（参考）中期的な財政見通し

※令和5年2月試算、一般財源ベース

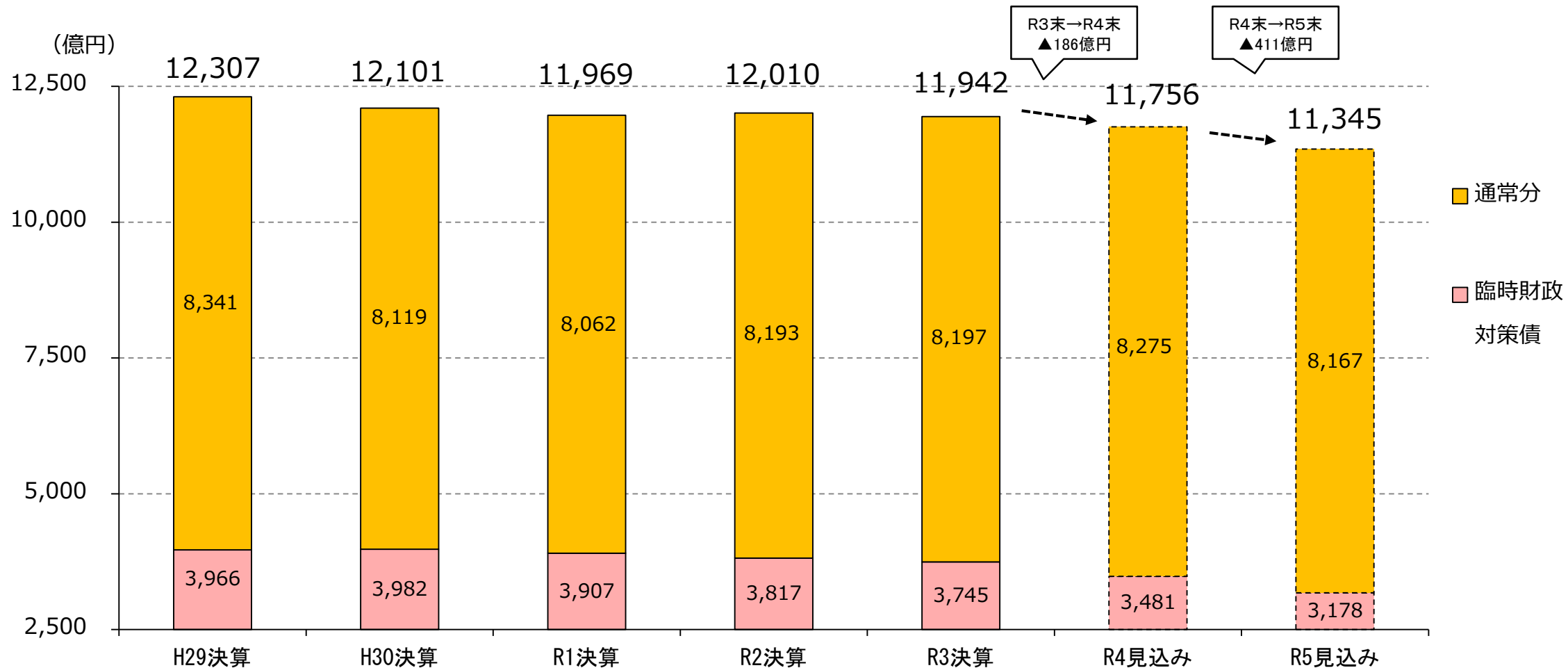


(注) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。県税は、都道府県間清算及び市町村交付金交付後の実質税収ベース。

（参考）県債残高の見通し

県債残高は、R4末～R5末にかけて、引き続き減少する見通し

➡ R5末の県債残高見込みは、1兆1,345億円 (R4末見込み:1兆1,756億円)



エネルギー価格・物価高騰対策

子育て世帯など生活者への支援

①ひとり親家庭応援事業 7,900万円【2月補正】

県内のひとり親家庭に対し、県産食品や生活必需品などの「応援セット」（1万円相当）を提供

②こども食堂物価高騰等対策支援事業 300万円

③生活支援・消費喚起プロジェクト支援補助金 4億円【2月補正】

県民の消費や暮らしを支え、地域経済の活性化を図るため、商工団体や商店街によるプレミアム商品券の発行などを支援

④富山県賃上げサポート補助金 600万円



県内事業者への支援

①中小企業ビヨンドコロナ補助金 10億円【11月補正】+ 5億円【2月補正】※ <R5.3以降に順次交付決定>

県内企業における省エネや省資源を後押しするとともに、DX、カーボンニュートラルを促進

※ 4月以降の電気料金の引上げも見据え、今回「5億円」を増額し、県内企業の生産性向上による「賃上げ」に向けた取組みへの支援を一層強化
 <補助率の引上げ：中小2/3→3/4、小規模2/3、3/4→4/5>

②制度融資「ビヨンドコロナ応援資金」 融資枠 500億円

県内の中小企業が、金融機関の伴走支援を受けながら経営改善等に取り組む際の資金繰りを支援 <県独自に保証料率を引下げ>

③課題解決・伴走支援型相談体制強化事業 1,000万円

商工会連合会及び商工会議所に対し、生産性向上や事業再構築等に取り組む事業者からの経営相談に対応する「専門指導員」の配置を支援

④公共交通等燃料価格高騰対策支援事業 2億780万円【11月補正】

⑤農林水産業原油価格・物価高騰対策支援事業 3億5,440万円【2月補正】



少子化対策

①とやまマリッジサポートセンター運営事業 2,820万円

新たに「結婚支援コンシェルジュ」を配置し、市町村や民間企業との連携を強化するとともに、会員へのフォロー体制を充実

②男性の育児休業取得緊急促進事業 2,540万円

子どもを産み育てやすい環境づくりに向けて、男性の育児休業取得者とその事業主に対し、補助金を交付

③子育て家庭お出かけ推進事業 1,550万円

民間施設における、子育て家庭に配慮したサービスの提供や授乳スペース等の整備を支援

④地域少子化対策重点推進事業 5,500万円

市町村による結婚支援や機運醸成、新婚世帯への経済的支援に対する補助を拡充

⑤UIJターン促進情報発信事業 3,500万円

若者のU I Jターン・Tターン就職を促進するため、県内外の大学生などに対し、県内企業や就職支援に係る情報発信を強化

⑥企業立地助成金（IT・オフィス系企業立地助成金）の拡充

女性活躍の推進に積極的な進出企業に対し、支援内容を拡充＜雇用助成期間を3年→6年に延長＞

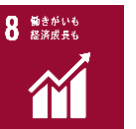
⑦企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業 790万円

企業経営者向けセミナーの開催、「とやま女性活躍企業」の認定数増加に向けた支援など

adoor

あなたを待っている人がいます。

by とやまマリッジサポートセンター



子育て支援（妊娠～子育て期における支援）

（１）妊娠・出産期における支援

① プレ妊活健診スタートアップ事業 510万円

市町村と連携し、将来子どもを望む夫婦を対象に「プレ妊活健診」を順次実施

② 出産・子育て応援交付金に併せた「新たな子育て支援ポイント制度」展開事業 1億5,550万円

国による経済的支援（計10万円相当）と県の「子育て応援券※」を一体的に運用（新たなポイント制度を展開）するとともに、妊娠時から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援を実施

※R5以降の出生児について一律3万円に拡充し、1歳～1歳半時に支給

③ 産後ヘルパー派遣実施体制強化事業

700万円

④ 新生児聴覚検査機器購入支援事業 960万円

県内医療機関における自動A B R機器※の新規導入や更新を支援

※自動A B R機器：寝ている新生児の耳に専用イヤホンを取り付け、小さな音を流し、聴覚を自動判定する機器

（２）子育て環境の充実

① 子育て家庭お出かけ推進事業 1,550万円【再掲】

民間施設における、子育て家庭に配慮したサービスの提供や授乳スペース等の整備を支援

② 子育て支援AIチャットボット運用事業 500万円

「子育て支援AIチャットボット」（R4導入）を活用し、子育て支援情報セグメント配信

③ 病児・病後児保育の利便性向上 303万円

インターネットによる予約を可能とするなど、病児・病後児保育の利便性を向上

④ とやまっ子インフルエンザ予防接種助成事業

2億1,500万円

未就学児のインフルエンザ感染による重症化を防止するため、予防接種費用を助成 <都道府県による一律助成は、本県のみ>

⑤ 不適切保育等防止推進事業 390万円

不適切保育等を未然に防止するため、新たに、外部の視点を取り入れた研修を実施

⑥ 新川こども施設整備・運営事業 2,700万円

新川こども施設の整備・運営を行うPFI事業者の選定手続きを実施



子育て支援（教育環境の充実など）

（3）教育環境の充実

① 少人数教育の推進 3億1,760万円

国より2年先行して35人学級を実現（小学校6年生までに拡大）するとともに、効果的な少人数教育を推進

② 教育相談体制充実事業 660万円

スクールカウンセラーの「スーパーバイザー」を配置するとともに、事例検討会やフリースクールとの連携強化などを通じ、教育相談体制を充実



③ 私立高等学校授業料減免補助金 1億4,058万円

子育て世帯の教育費負担の軽減を図るため、授業料減免補助を拡充<年収590～910万円未満世帯に対し、国の就学支援金に月額6,600円まで上乗せ>

（4）その他の支援

① こどもの居場所づくりの推進 1,100万円

様々な困難を抱えるこどもが、学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、こども食堂における学習支援の取り組みや、民間団体による居場所づくりを支援

② こども食堂設置拡充促進事業 392万円

こども食堂の設置促進や、フードバンクなど各種団体と連携を強化

③ ヤングケアラー支援体制整備事業 450万円

ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげるための体制を整備

④ 富山児童相談所の移転改築及び児童心理治療施設の整備 8,900万円

・「富山児童相談所」の移転改築（施設の集約及び連携による機能強化）に係る基本設計・実施設計等
・被虐待児童等の心理ケアや生活指導を担う「児童心理治療施設」の開設に係る基本設計・実施設計等

⑤ 小児医療等提供体制強化事業 6,545万円

児童精神科医の養成など県内の小児医療を充実・強化

女性が活躍する環境づくり

① ジェンダー平等推進プロジェクト2030事業 1,000万円

2030年までの「ジェンダー平等」の達成を目指し、アンコンシャス・バイアス解消アクションなどを実施

② 企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業 790万円【再掲】

企業経営者向けセミナーの開催、「とやま女性活躍企業」の認定数増加に向けた支援など

③ 女性活躍「ファーストペンギン企業」パイロット事業 400万円

女性の活躍分野の拡大、健康課題への対応など、県内企業における各種取組みを支援 ＜新たに設備導入等への支援を追加＞

④ 女子中高生×女性管理職交流促進事業 100万円

女子中高生と県内企業の女性管理職との交流会などを通じ、ライフプランやキャリア形成について考える機会を提供

⑤ デジタルも学べる！女性のキャリアデザイン応援事業 279万円

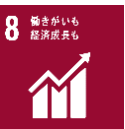
デジタルスキルの導入講座などを通じ、女性のキャリア形成を支援

⑥ 働き方改革等の横展開推進事業 685万円

「働き方改革サポーター」の登録促進や、「働き方改革・女性活躍推進宣言」の拡大などを通じ、働き方改革に係る取組みを県内に広く横展開

⑦ 男性の育児休業取得緊急促進事業 2,540万円【再掲】

子どもを産み育てやすい環境づくりに向けて、男性の育児休業取得者とその事業主に対し、補助金を交付



スタートアップ支援、関係人口の増加

起業への支援

①とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 6,170万円

エコシステム形成に向けて、県内のスタートアップを集中的に支援するとともに、県内企業・団体によるネットワークの構築を通じ、機運醸成を図る。

②制度融資「創業・事業承継支援資金(創業者枠)」融資枠 30億円

県内における創業等を促進するため、国の「スタートアップ創出促進保証」を利用する中小企業に対し、県独自に保証料の一部を補助

③とやま創業支援拠点活性化事業 415万円

「SCOP TOYAMA」の認知度向上及び交流拠点化に向けて、地域交流イベントを開催

④担い手確保・育成強化事業 2億9,245万円

新規就農者の育成・確保に向けて、とやま農業未来カレッジの研修内容の充実や、就農コーディネーターによる就農相談等を実施



「SCOP TOYAMA」
創業支援センター・
創業・移住促進住宅

関係人口の増加

①高岡テクノドームの機能強化 24億800万円

高岡テクノドーム別館の建設工事や、運営事業者選定など<令和6年度中の開館を予定>

②関西圏情報発信拠点整備推進事業 5,700万円

北陸新幹線の敦賀開業を見据え、三県が連携し、関西圏における情報発信拠点（大阪・梅田地区）の開設準備やプロモーションを実施

③北陸デスティネーションキャンペーン（令和6年）に向けた誘客促進

- ・北陸三県の連携による全国的な誘客キャンペーン（3,476万円）
- ・全国宣伝販売促進会議やブレDCによる情報発信（2,541万円）

④UIターン促進情報発信事業 3,500万円【再掲】

⑤とやまへの移住の促進

- ・満足度の高いイベント開催や、VRを活用した相談対応など（3,000万円）
- ・とやまへの移住の魅力を効果的にPRするため、WEBサイト「くらしたい国、富山」をリニューアル（1,500万円）

新産業の創出・産業競争力の強化

① 産学官連携による産業創出の支援

- ・ アルミ産業の成長力強化：アルミのリサイクル（グリーン化）に向けた研究開発・人材育成（6,317万円）
- ・ 医薬品産業の振興（くすりコンソーシアム）：県内産学官による医薬品の研究開発・人材育成（3億1,519万円）
- ・ 新たな成長産業の創出：グリーン成長戦略分野に関連する研究開発の支援（5,925万円）

② 企業立地助成金（IT・オフィス系企業立地助成金）の拡充【再掲】

- ・ 女性活躍の推進に積極的な進出企業に対し、支援内容を拡充＜雇用助成期間を3年→6年に延長＞

③ 制度融資「設備投資促進資金(生産性革命推進枠)」 融資枠 55億円

- ・ エネルギー効率の向上や炭素排出量の削減に資する設備投資等を行う中小企業を支援＜3年間の利子補給＞

④ 企業の海外展開の促進

- ・ 「T-Messe2023富山県ものづくり総合見本市」の開催（9,400万円）
- ・ 米国・オレゴン州との経済交流の促進（2,598万円）：オレゴン州への職員派遣や、米国での「とやまフェア」の開催など

⑤ 本県産業の承継支援

- ・ 中小企業の技術や雇用などの経営資源を次世代に引き継ぐため、事業承継に向けた取組みを支援（400万円）
- ・ 伝統的工芸品の産地組合の育成計画に基づく、継承者の技術習得を支援（180万円）
- ・ 後継者の育成や生産性の向上を図るため、AI技術を活用し、伝統的工芸品の技術継承を効率化（3,000万円）

⑥ ブランディング・情報発信強化事業 8,800万円

観光庁「観光再始動事業」を活用した、「寿司」をフックとする特別な体験の提供により、本県への誘客促進や、農水産業など周辺産業の高付加価値化につなげる。



健康寿命の延伸

① PFSを活用した特定健診受診勧奨モデル事業（R⑤～⑧債務負担行為設定1,500万円）

効果的な特定健診の受診勧奨に向けて、県内4市町で、PFSを活用したモデル事業を実施

② 働き盛りの健康づくり支援（健康ポイント）事業 1,200万円

スマホアプリ「かがやきウォーク」の機能を拡充するとともに、官民連携によるPRイベントを開催するなど、生活習慣の改善を一層促進

③ とやまフレイル予防普及啓発事業 230万円

高齢者のフレイル予防を推進するため、官民連携による効果的な啓発に取り組む。

④ 富山のくすり品質・信頼性等確保事業 460万円

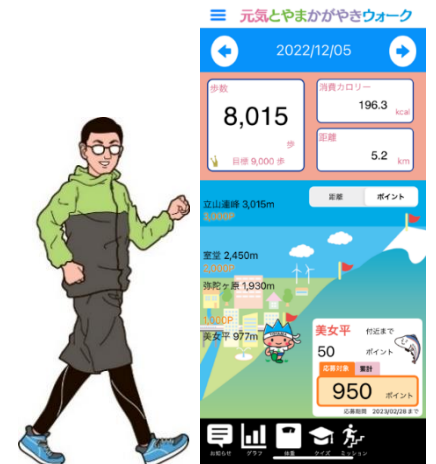
令和3年7月の県薬事審議会の提言等を踏まえ、薬機法違反の再発防止と信頼性確保に向けた取り組みを実施

⑤ 回復期機能病床確保事業 2億5,000万円

急性期や慢性期機能病床から回復期機能病床等への転換を図るため、医療機関の病床転換に要する経費を支援

⑥ ぐっすりとやまプロジェクト 390万円

睡眠をテーマに企業の「健康経営」を考えるシンポジウムなどを開催



医療・介護の人材育成・確保

①「とやま介護テクノロジー普及・推進センター」運営事業 2,570万円

介護ロボットやICTの普及促進を図るため、相談対応や情報発信を一元的に行うセンターを設置・運営（R5.4月に開所）

②外国人介護人材受入施設等環境整備事業 300万円

県内の介護施設や介護福祉士養成校における、外国人介護人材を受け入れるための環境整備などを支援

③「くすりの富山」薬剤師確保対策事業 1,200万円

公的病院等における短期インターンシップの開催、薬剤師のキャリアを紹介するウェブサイトの制作・PR

④看護師等就労促進事業 2,292万円

就労相談に加え、新たにeラーニングを導入し再就業支援研修会を充実

⑤地域医療フレキシブル体験推進事業 500万円

県「特別枠」の医学生が自ら企画立案した「卒前支援プロジェクト」を実施し、地域医療に対する意識の涵養を図る。

⑥富山県歯科医師会館の耐震改修事業への支援 2,530万円

歯科衛生士・歯科技工士養成所を含む富山県歯科医師会館の耐震改修工事に対し支援



介護ロボットを活用した移乗支援



産業・行政におけるデジタル化の推進

民間部門

- ① **中小企業ビヨンドコロナ補助金【再掲】**
10億円【11月補正】+ 5億円【2月補正】※
県内企業における省エネや省資源を後押しするとともに、DX、カーボンニュートラルを促進
※ 4月以降の電気料金の引上げも見据え、今回「5億円」を増額し、県内企業の生産性向上による「賃上げ」に向けた取り組みへの支援を一層強化
＜補助率の引上げ 中小2/3→3/4、小規模2/3、3/4→4/5＞
- ② **デジタルソリューション推進事業 7,500万円**
企業が保有する先進的なデジタル技術（5GやAIなど）を活用し、地域課題の解決を実証
- ③ **中小企業デジタル変革推進事業 2,958万円**
課題分析やデータ活用をテーマとした各種講座を開催
- ④ **建設業DX推進支援事業 750万円**
建設現場の業務効率化に資するデジタル技術の導入などを支援



行政部門

- ① **デジタル人材による市町村DX支援事業 850万円**
自治体のデジタル化やシステム調達などの知見を有する専門人材を配置し、市町村のDXを支援
- ② **サービス連携プラットフォーム等整備事業 1億4,260万円**
県の複数のアプリやサービスを連携させるため、共通の基盤となるプラットフォーム等を整備し、県民の利便性向上や地域課題の解決を図る。
- ③ **入学者選抜手続等デジタル化事業 6,000万円**
県立高校入学者選抜の手続きをデジタル化し、志願者の利便性を大幅に向上
- ④ **冬期道路情報強化事業 600万円**
除雪情報システムに、AIにより路面の積雪を判断する機能を追加することで、積雪情報を視覚的に発信
- ⑤ **メタバースを活用したデジタル広聴事業 100万円**
- ⑥ **「ワンチームとやま」連携推進事業 100万円**
＜「自治体行政のデジタル化」などについて、県・15市町村で協議・検討＞

○ **富山県DX推進計画策定事業 500万円**
来年度中に予定している関連条例の制定に合わせ、現行の「DX・働き方改革推進基本方針」を見直し、新たな計画を策定

DX人材の育成

① 富山県立大学新学部整備事業 3億2,896万円

データサイエンス等の専門教育を行う「情報工学部（仮称）」の開設に向けた準備 <令和6年4月に開設予定>

② 県立大学DX教育研究センターの運営事業 5,975万円

産学官金の連携拠点として、オープンイノベーションやDXを担う人材育成を推進

③ DXサポーター養成事業 550万円

企業内のDXを牽引するとともに現場のニーズや課題を県に届ける「DXサポーター」を養成

④ 未来のDX人材育成事業 1,300万円

小学生・中高生を対象に、高度なプログラミングスキルや課題解決能力をもつ「突き抜けたDX人材」を育成

⑤ 「eスポーツ×DX人材育成」モデル事業 1,200万円

「課題解決型DX人材」を育成するため、eスポーツを通じた教育プログラムを実証



県立大学DX教育研究センター

農林水産業の振興

稼げる農林水産業の実現

①とやまの農林水産物輸出促進事業 1億2,255万円

「地域商社」を中心とした輸出プラットフォームの形成、「リーディングプロジェクト」の支援、アジア地域でのフェア開催など

②「富富富」の生産拡大、「とやま和牛 酒粕育ち」のブランド化を推進 3,820万円

③とやまの食材プロモーション事業 1,570万円

とやま食材マッチングサイトの利用拡大や、県産食材のPRに取り組むとともに、新幹線・航空機輸送による販路拡大を支援

④稼げる！とやまの園芸産地支援事業 1億円

「リーディング経営体」の育成に向けた機械・施設の導入や、労働力確保のための農業支援サービスの活用を支援

⑤とやま米粉消費拡大推進事業 2,000万円

県産米粉を活用した商品の開発・販売を支援するとともに、大消費地と連携した「消費拡大キャンペーン」を実施

⑥富山湾の新たな有用水産資源の開発研究 100万円

藻場保全のために駆除されるウニ類を活用した養殖試験



とやま農業未来カレッジ
(ICT活用施設)



農林水産業の振興

担い手の育成・確保など

①「第18回食育推進全国大会inとやま」の開催 6,000万円

②担い手確保・育成強化事業 2億9,245万円【再掲】

新規就農者の育成・確保に向けて、とやま農業未来カレッジの研修内容の充実や、就農コーディネーターによる就農相談を実施

③富山大学における農業経済学寄附講義の開催 230万円

本県の農業振興に関する継続的な研究・学びの場として、新たに富山大学に、農業経済学に係る寄附講義を設置

④林業人づくり総合支援対策事業 4,446万円

林業の担い手の育成・確保に向けて、就業相談や養成研修を実施するとともに、新たに林業事業者によるインターンシップを支援

⑤環境にやさしい農業「みどり戦略」推進事業 6,200万円

有機農業の拡大に取り組む農業者・市町村への支援、プラスチック被覆肥料や化学農薬を低減する技術実証など



とやま米粉を活用した商品



地域交通ネットワークの活性化

①地域交通戦略策定事業 2,000万円

持続可能な公共交通の確保に向けて、法定計画である「富山県地域交通戦略」を策定

②鉄軌道の安全性・快適性の促進 2億1,063万円

- ・富山地方鉄道による鉄軌道の安全性・快適性の向上を促進するため、市町村と連携して支援を強化
- ・万葉線における交通系 I Cカード設備の導入に対し、沿線市と連携して支援

③城端線・氷見線活性化調査等事業 500万円

城端線・氷見線の交通体系について、利便性・快適性向上を図るための調査・検討を実施

④新モビリティサービス等推進事業 3,500万円

人口減少や高齢化等の進展に対応するため、地域の移動を支える新たなモビリティサービスの導入を支援

⑤富山県M a a S環境構築事業 2,000万円

MaaSアプリにおける「とやまロケーションシステム」との連携を強化

⑥北陸三県連携鉄道利用促進事業 500万円

北陸新幹線の敦賀開業に向けて、北陸三県が連携したキャンペーンを実施するなど、並行在来線の利用を促進



持続可能な地域づくり

①全国過疎問題シンポジウムの開催 660万円

過疎地域の活性化に係る議論を深め、全国の優れた取組みに触れる「全国過疎問題シンポジウム」を開催

②中山間地域の持続可能な物流モデル構築事業 390万円

中山間地域における持続可能な「物流モデル」の早期実装化に向けて、官民協働の協議会を設置

③中山間地域コミュニティビジネス人材育成事業 150万円

経営の専門知識やノウハウを習得する研修を実施し、コミュニティビジネスに取り組む地域を育成

④ニホンザル総合対策推進事業 400万円

加害群の行動域を把握し効果的な捕獲・追払いを行うため、捕獲従事者へ受信機を貸与するほか、地域住民等を対象に研修会を開催

⑤防災士養成事業 900万円

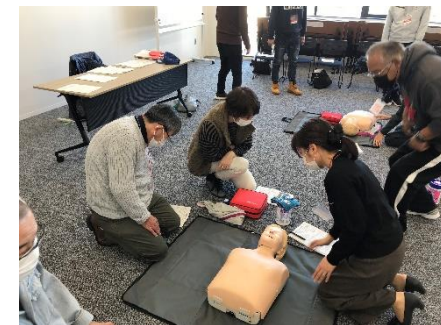
地域の「共助」の担い手として防災活動の中心となる防災士の養成を強化
<防災士養成研修講座の定員を倍増（240名→480名）>

⑥安全安心見守りカメラ事業 50万円

通学路の危険箇所や犯罪前兆事案発生箇所に対し、防犯カメラの設置を促進 <防犯カメラの貸出し（最大40台）>

⑦地熱資源開発可能性調査 3,639万円

二酸化炭素排出量が少なく純国産で安定した電源である地熱発電の導入可能性を調査し、方針を検討



防災士養成研修

令和の公共インフラ・ニューディール政策

予算規模（11月補正・2月補正への前倒しを含む。）

- ◆ **公共事業約838億円**（R4比 99.7%） 前年度と同規模を確保
- ◆ **主要県単独事業約204億円**（R4比 111.5%） 9月補正予算からの前倒し計上を含め、資材単価等の上昇に対応

治水・海岸・土砂災害対策

- ① **河川・海岸・砂防事業 100.4億円**
堤防、離岸堤、砂防堰堤の整備 など
- ② **農地防災事業・治山事業 90.9億円**
防災重点農業用ため池、農業用水路の安全対策、治山施設の整備 など

インフラの老朽化対策

- **定期点検及び計画的な修繕・更新 155.7億円**
橋梁、トンネル、ダム、都市公園など

物流と生活を支える社会資本の整備

- ① **安全・安心のみちづくり 164.9億円**
通学路など歩道の整備、消雪施設、道路除雪、道路防災対策 など
- ② **道路ネットワークの整備 46.4億円**
県道高岡環状線、県道富山立山公園線 など
- ③ **港湾・漁港の整備 35.4億円**
臨港道路伏木外港1号線、漁港施設の高波対策 など

県立高校や県有施設

- 各種施設の維持修繕に加え、**特別教室への空調整備**や交通安全施設の新設・改良を計画的に推進
29.7億円



ため池の整備例（R4：谷内山池地区）



県道富山魚津線
今川橋の架替

(参考) 社会資本整備の主な箇所

東海北陸自動車道の4車線化の推進

中日本高速道路株式会社

福光IC～南砺スマートIC
五箇山IC～城端SA、白川郷IC～五箇山IC



4車線化の一部供用区間

国直轄事業の推進

○国直轄事業の推進

富山高山連絡道路(猪谷榆原道路,大沢野富山南道路)
富山外郭環状道路(豊田新屋立体,中島本郷立体)
高岡環状道路(六家立体)
国道8号(入善黒部バイパス,倶利伽羅防災)
伏木富山港(新湊地区中央岸壁の大水深化 など)
神通川、利賀ダム、立山砂防
国営農地再編整備事業(水橋地区) など



国道8号入善黒部バイパス

治水・海岸・土砂災害対策

○河川・海岸・砂防事業

・河川 泉川(氷見)、坪野川(富山)、鴨川(魚津)
護岸の修繕や浚渫・伐木 など
・海岸 富山海岸(富山) など
・砂防 池川(南砺)など



坪野川(H20.7豪雨による浸水)



上島地区(R4.8豪雨による土砂流出)

○農地防災事業・治山事業

・農地防災 針山口六ヶ用水一期地区(高岡ほか)
棚山西池地区(ため池)(朝日) など
・治山 上島(南砺)復旧治山 など

インフラの老朽化対策

○定期点検及び計画的な修繕・更新

・橋梁、トンネル、河川管理施設、ダム、砂防関係施設
都市公園、下水道施設などの点検・修繕・更新
・県道富山魚津線 今川橋の架替(富山) など



主桁の腐食

橋梁の老朽化対策
(県道新湊庄川線 雄神橋の損傷状況)

物流と生活を支える社会資本の整備

○道路ネットワークの整備

県道高岡環状線(高岡)
県道富山立山公園線(富山-立山)
県道魚津生地入善線(魚津-黒部) など



県道高岡環状線(二塚交差点)

○安全・安心のみちづくり

・歩道整備 県道砺波小矢部線(小矢部) など
・消雪施設 県道上飯野入善停車場線(入善) など
・斜面对策 国道156号(砺波-南砺) など

○港湾・漁港の整備

・港湾 臨港道路伏木外港1号線(高岡) など
・漁港 新湊漁港(射水)の防波堤改良など

○都市基盤の整備

富山駅付近連続立体交差事業(富山)
(都)牛島蛭川線(富山)、(都)駅前栄町線(砺波)など



富山駅付近連続立体交差事業
(富山地方鉄道本線)

○市街地再開発事業

中央通りD北地区(富山)、高岡駅前東地区(高岡) など

○農地整備事業

出島地区(黒部) など

○農業用水路の安全対策

蓋掛け等 県内20地区への支援 など

カーボンニュートラルの推進

民間部門での取組みを促進

①再生可能エネルギー導入促進事業 2億8,200万円

県民や県内企業に対し、自家消費型の太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援

②EV導入促進事業 3,310万円

EV（電気自動車）の普及拡大に向けて、個人・事業者によるEV導入や、商業施設等での充電設備の導入を支援

③住宅・建築物省エネ化推進事業 3,540万円

既存住宅の省エネ改修を支援するとともに、目指すべき省エネ住宅「富山型ウェルビーイング住宅（仮称）」の性能及び推進方策を検討・設定

④脱炭素化モデル中小企業育成事業 980万円

県内の中小企業を対象に、脱炭素経営に関するセミナーや検討会を開催し、脱炭素経営のモデル企業を育成

⑤カーボンニュートラル推進事業 628万円

民間事業者等からの提案募集により、県民や県内事業者の行動変容のきっかけを創出し、カーボンニュートラルの意義や必要性に対する理解促進を図る。

⑥小水力発電導入可能性調査事業 2,000万円

小水力発電の導入拡大に向けて、河川や上下水道を対象とした導入可能性調査などを実施



公共部門での取組み

①県有施設等のLED化 15億円

「県庁の率先行動目標」の達成に向け、県有施設や信号機、学校照明のLED化を計画的に推進

②県有施設の太陽光発電設備設置事業 5,471万円

県有施設に太陽光発電設備を計画的に設置するための実施設計など

SDG s ・多様性の推進

①プラスチックごみリサイクル支援マッチングサイト構築事業 500万円

廃プラスチックの排出事業者とリサイクル業者、プラスチック製品メーカーによる新たな連携を支援

②特別支援学校医療的ケア体制整備事業 6,193万円

特別支援学校に必要な看護職員を配置するとともに、新たに「医療的ケア指導チーム」を配置

③SDG s インクルーシブ教育システム推進事業 203万円

新たにインクルーシブ教育推進員を配置し、「インクルーシブ教育システム」の理念の普及や、推進員による学びの場の見直しに関する助言、好事例のPRに取り組む。

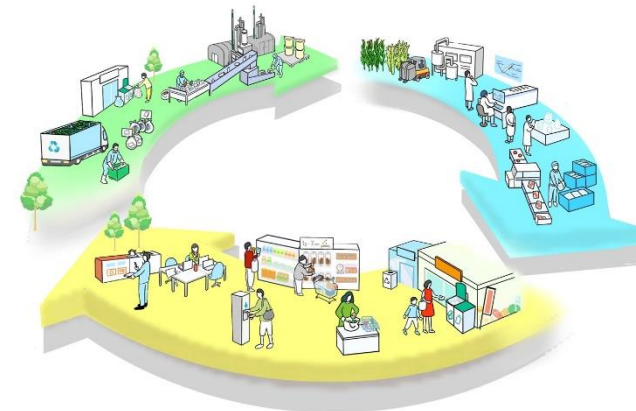
※インクルーシブ教育システム：障害のある子供と障害のない子供が共に学び合う仕組み

④障害者雇用実務講座・雇用ゼロ企業セミナー開催事業 350万円

雇用ゼロ企業など法定雇用率未達成企業に対し、労働局の指導と連携した講座などを開催

⑤ハートフルとやま工賃向上事業 708万円

障害者就労支援事業所における障害者の工賃向上を図るため、企業や官公庁向けのPRなどを強化



障害者雇用実務講座

スポーツ・文化の振興

① 県民スポーツ機会創出事業 577万円

県民のスポーツ活動への参加を促進するため、体験型スポーツイベントなどを開催

② プロスポーツチームによるキャリア教育推進事業 360万円

プロスポーツチームの資源・ノウハウを活用し、小中学生を対象に技術指導を実施

③ とやまアーティストマッチング事業 950万円

県民が文化に触れる機会を拡充するため、活動依頼に応じ、県内の芸術家などを派遣

④ 日本三霊山連携・魅力発信事業 732万円

三県知事による鼎談を開催するとともに、立山博物館において、三霊山に関する展示や調査・研究を実施

⑤ 「雲の向こうはいつも青空」事業 300万円

「高志の国文学館」においては、新館長の就任を契機に、幅広い世代にとっての「学びの場」や「憩いの場」を目指し、新たなイベントなどを開催

⑥ 国宝指定記念勝興寺魅力発信事業 800万円

勝興寺が国宝に指定(令和4年12月)されたことを記念し、県、市、勝興寺の共同により、宝物展などを開催

⑦ 文化観光の推進 400万円

文化施設を巡るバスツアーの造成やデジタルチケットの販売を支援するほか、立山博物館を中核とした「立山エリア」の文化観光を推進



初等・中等教育の充実

①少人数教育の推進 3億1,760万円【再掲】

国より2年先行して35人学級を実現（小学校6年生までに拡大）するとともに、効果的な少人数教育を推進

②スクール・サポート・スタッフの配置 2億5,455万円

教員の負担軽減を図るため、教員の業務をサポートする人材を配置

③教育相談体制充実事業 660万円【再掲】

スクールカウンセラーの「スーパーバイザー」を配置するとともに、事例検討会やフリースクールとの連携強化などを通じ、教育相談体制を充実

④地域部活動の推進 9,938万円

市町村における休日の部活動の地域移行を支援

⑤「富山で先生になろう」応援事業 1,200万円

「教員UIターンセミナー」や教員養成講座、PR動画等による教員の魅力発信＜新たに、県外出身の県外大学生を教育実習生として募集＞

⑥教員を目指す学生の野外活動実習・異学年子ども体験活動事業 160万円

県立青少年教育施設において、高校生や大学生が企画運営に携わり、小学生を対象とした異学年交流合宿を開催

⑦社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 1,490万円

中学2年生を対象とした職場体験活動を支援するとともに、企業等へのPRを強化

⑧世界の食を楽しむG7サミット給食提供事業 126万円

富山市と連携した機運醸成として、県立特別支援学校において、G7参加国にちなんだ特色ある給食を提供

■本県の少人数教育のスケジュール

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
現行	35人	35人	35人 選択制		40人	40人	35人 選択制	40人	40人
<R3>		35人 (国対応)	35人 (本県先行)		40人	40人	↓ 現行制度を継続		
<R4>			35人 (国対応)	35人 (本県先行)		40人			
<R5>				35人 (国対応)	35人 (本県先行)				
<R6>					35人 (国対応)	35人 (本県先行)			
<R7>						35人 (国対応)			

国より2年先行

小学校3年生～中学校3年生における
少人数指導の継続実施

※国は、R3に小2を35人として、以降年次進行し、R7に全学年で実施



社会に学ぶ「14歳の挑戦」

魅力と活力ある高校教育など

① 県立学校整備等に関する検討事業 220万円

新たな検討会議を設置し、高校再編に係る基準などの基本的な方針について議論・検討

② とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 2,070万円

県立学校において、課題発見・解決能力の育成に向けたプロジェクト学習や、S T E A M教育を推進

※ S T E A M教育：Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics の各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育

③ 高校オープンイノベーション支援事業 1,460万円

県立学校において、地域課題等をテーマとした探究活動を推進するため、新たに学校と地域や企業をつなぐ「コーディネーター」を配置するとともに、活動内容をPR・横展開

④ 富山県高等教育シンポジウム開催事業 200万円

G 7 教育大臣会合の開催に併せて、県内の各高等教育機関の特色ある取組みを発信するシンポジウムを開催

⑤ 農業教育環境整備事業 1億3,781万円

高校の農業学科に、実践的で高度な知識・技能を身に付けるための先進農業機械（GPSトラクタなど）を整備

⑥ 県立図書館機能向上検討・整備事業 2,415万円

デジタル化の進展などを踏まえ、県立図書館のあり方を検討するとともに、利便性向上のための改修を実施



プロジェクト学習

人への投資

リスキリングなど

①とやま人材リスキリング補助金 3,300万円【11月補正】

国の「人材開発支援助成金」と歩調を合わせ、県独自で、県内企業が生産性向上のために行う従業員のリスキリングに対し、経費の一部を補助

②富山県技術専門学院リニューアル事業 1億4,400万円

産業界の人材ニーズや、求職者のスキルアップに向けた訓練ニーズを踏まえ、富山県技術専門学院において、学科の見直しなど訓練環境を整備

③農業研修体制強化事業 2,810万円【担い手確保・育成強化事業の内数】

「とやま農業未来カレッジ」において、既就農者向けの園芸研修や研修効果を高めるためのカリキュラムを強化するとともに、定員拡充に向けて検討・準備

④伝統工芸技術継承支援補助金 180万円【再掲】

伝統的工芸品の産地組合の育成計画に基づく、継承者の技術習得を支援



伝統工芸品の継承者育成
(イメージ)

DX人材の育成

①富山県立大学新学部整備事業 3億2,896万円【再掲】

データサイエンス等の専門教育を行う「情報工学部（仮称）」の開設に向けた準備 <令和6年4月に開設予定>

②未来のDX人材育成事業 1,300万円【再掲】

小学生・中高生を対象に、高度なプログラミングスキルや課題解決能力をもつ「突き抜けたDX人材」を育成



プログラミングスクール

観光振興による誘客促進、関係人口の増加

①北陸デスティネーションキャンペーン(令和6年)に向けた誘客促進【再掲】

- ・北陸三県の連携による全国的な誘客キャンペーン<首都圏マスメディアに向けた情報発信など> (3,476万円)
- ・全国宣伝販売促進会議やプレD Cによる情報発信 (2,541万円)
- ・本県の多彩な「食」の魅力を活用した首都圏でのP R (920万円)
- ・定期観光路線の利用を促進するため、旅行商品の造成・販路開拓や運行に係る経費を支援 (1,250万円)



関西圏情報発信拠点(イメージ)

②関西圏情報発信拠点整備推進事業 5,700万円【再掲】

③高付加価値な観光地域づくりと欧米豪等の誘客推進

- ・高付加価値旅行者向け宿泊施設の誘致検討委員会を設置し、立地に向けた方策などを検討 (2,200万円)
- ・ロンドンの商業施設等における、「食」や「伝統工芸」をウリにしたプロモーション (2,500万円)
- ・欧米豪向け観光コンテンツの磨き上げや、HP・SNSによる情報発信の強化、現地でのコンサルティング (3,270万円)



④黒部宇奈月キャニオンルートを核とした立山黒部の魅力向上

- ・ガイドの養成、開業イベント、国内外の各種媒体を活用したP R (6,220万円)
- ・立山黒部地域の観光事業者による観光プロモーションを支援 (4,000万円)
- ・令和5年に「開湯100周年」を迎える宇奈月温泉への支援や、樺平のバリアフリー化 (780万円)
- ・立山黒部アルペンルートの全体構想の策定に向けた基礎調査やDXを支援 (6,900万円)

⑤サイクルツーリズム情報発信事業 1,500万円 <SNSを活用した情報発信や、北陸三県で連携したモバイルスタンプラリーなど>

⑥全国観光需要促進事業 21億4,770万円【11月補正、2月補正】

⑦とやまへの移住の促進【再掲】

- ・満足度の高いイベント開催や、V Rを活用した相談対応など (3,000万円)
- ・とやまへの移住の魅力を効果的にPRするため、W E Bサイト「くらしたい国、富山」をリニューアル (1,500万円)



空港の活性化、港湾の整備

①台北便運航再開観光プロモーション事業 1,200万円【2月補正】

定期便の運航再開に向けて、台北での観光プロモーションを強化<台北市の主要駅での壁面広告、FAMツアー>

②国際線運航再開支援事業 4,100万円

国際線の運航再開を見据えた、情報収集・分析や、旅行商品の造成支援など

③ANAと連携した国内線の利用促進 4,250万円

ANAと連携したプロモーションや、個人向け搭乗キャンペーンなどを通じ、誘客を促進

④航空新規路線開拓事業 1,200万円

富山空港の新規需要の開拓及び利用促進に向けて、東南アジア等におけるエアポートセールスや、チャーター便の運航支援を実施

⑤富山空港民間活力導入準備事業 6,100万円

富山空港における「混合型コンセッション」の導入に向け、空港施設の資産などを調査するとともに、運営事業者の公募のための関係資料を作成

⑥伏木富山港（新湊地区）ガントリークレーンの更新 9億4,000万円

新湊地区における国際物流ターミナルのガントリークレーンの更新

